広報
かるまい9
平成27年（2015年） No.678

夜空を彩る大輪

かるまい夏祭りが7月31日から8月2日まで町中心商店会を主会場に開催され、およそ8,000人を集めました。（関連記事は6ページ）

今月の主な内容

■成人式 …… 2～3
■町小学生が音更町と相互交流 …… 4
■町小学校水泳記録会 …… 5
■かるまい夏祭り …… 6

平成27年 軽米町成人式

（男）対象者 56 人中 48 人が出席

（女）対象者 59 人中 47 人が出席

平成27年度の町成人式が8月15日、町農村環境改善センターで開催されました。二十歳という人生の節目にあたり、晴れやかな衣装で式典に臨んだ新成人95人は、真の社会人としての自覚と決意を新たにしていました。

今年新たに大人の仲間入りを果たす新成人95人は、ドレスやスーツなど晴れ姿に身を包み、中学校、高校を卒業してから久しぶりに会う友達との再会に笑顔を咲かせていました。

山本賢一町長は「新成人の皆様に期待することは、若い感性と自ら新しい未来を創ろうという強い気持ち。新しい時代の軽米町を皆さんの手で切り開いてほしい」と式辞。新成人を代表して菅原瑞穂さん（車門）が「軽米で培った経験やふるさとへの思いを大切にし、これからの町の発展を担うものとして、過疎化や少子高齢化問題、揺れ動く政治経済など山積する課題に真摯に向き合い、明るい将来を築くことをここに誓います」と力強く宣言しました。

また、町と町選挙管理委員会から記念品が贈られ、出席者を代表して畑林樹八さん（屋敷）と板橋大哉さん（百目金）がそれぞれ受け取りました。

式典終了後は久慈市の高校生ボランティアグループ『ヤングボランティアSEED』による記念講演会「笑顔あふれる地域づくりを目指して」が行われ、新成人たちは地域を支えるより若い力に刺激を受けていました。

全員で町民憲章を読み上げた新成人たち

ＳＥＥＤに負けず 軽中生もボランティア

今年も成人式を支えてくれたのは軽米中学校の生徒によるボランティア。朝の受付や町民憲章の前文の唱和、新成人の呼名など11人の中学生は懸命に式典をサポートしてくれました。５年後、皆さんの成人式も後輩たちがサポートしてくれることでしょう。

町記念品贈呈
畑林　樹八 さん

町選管記念品贈呈
板橋　大哉 さん

新成人代表謝辞
菅原　瑞穂 さん

高校生ボランティアの活動紹介

歓迎式終了後、音更町の子どもたちと記念撮影（音更町生涯学習センター前）

音更町と相互交流

町内の小学生19人（軽米町研修団、畠山敏（さとし）団長）と、姉妹町である北海道音更町の小学生22人との相互訪問による交流が、７月28日から31日まで音更町で、８月４日から６日まで軽米町で行われました。子どもたちはホームステイなどを通じて、互いの町の文化や歴史、生活習慣、地理や自然などを体験しました。研修のなかで見て・触れて・食べて・感じた子どもたちの感想の一部をご紹介します。

槍澤　美佑（みゆ）さん
（小軽米小５年）

私は朝、苫小牧港についた時、軽米より少し寒いと感じました。そして千歳道産市場までとても時間がかかり、そこで北海道はこんなに広いんだと感じました。

民泊では、きずなちゃん、紗英ちゃんたちと花火をしたり、学校も見せてくれてとても大きく新しい感じがしました。

私が行った所は、農業が盛んで、ほとんどの家が牧場でした。児童館では、十勝地方が海だったころの生き物の化石やエアーホッケー、本物の飛行機などを見て、とても楽しかったです。

これからも、音更町との姉妹交流を続けていくきっかけを作り、もっと良くしていきたいです。

福田　柊真（しゅうま）くん
（晴山小５年）

出発式では、いよいよ北海道へ行けるとワクワクしました。畠山校長先生が「五感でいろいろなことを感じてきましょう」と言ったのが心に残りました。

歓迎式が終わって、快青くんの車で家に向かいながら音更と軽米を紹介しました。

２日目は、朝起きて、快青くんと町のラジオ体操をしに行きました。ラジオ体操は毎日あると聞いたのですごいと思いました。

出発式で団長が言ったとおり、ぼくは五感でいろいろなことを感じることができたので、研修は成功したと思います。次の研修にも活かしていきたいです。

野田　聖菜（せな）さん
（軽米小５年）

研修で分かったこと、楽しかったこと、学んだことがあります。分かったことは北海道新聞社音更工場の見学で、新聞のインクは赤などと重ねられて書かれていることです。

楽しかったことは私と同じ名前の聖菜ちゃんの家に泊まったことです。池田町のワイン城に見学に行き、ワインを作る機械も見てきたし、タルにも入りました。

そして学んだことは音更町の人はとてもいい人だということです。最初は緊張してあまり話しかけられなかったけど、聖菜ちゃんから接してくれてよかったです。そして、友情というものを学びました。

第39回町小学校水泳記録会

第39回町小学校水泳記録会（町小学校体育連盟主催）が７月27日、小軽米小学校プールで開催されました。全31種目に延べ約200人が出場。各校の選手たちは、仲間の声援を受けながら練習の成果を発揮。ゴールを目指し精いっぱい泳ぎました。各種目の優勝者と記録は、下記のとおりです。（敬称略、○に数字は学年）

◆種目別の優勝者と記録◆（敬称略）

◇150mメドレーリレー
【女子】晴山（坂上由佳、日影千夏、福田紗采）　2分42秒3
【男子】軽米（大村暦一郎、下谷地璃樹、田中春希）　2分18秒6

◇200m自由形リレー
【女子】晴山（日影千夏、福田紗采、神久保ちひろ、坂上由佳）　3分11秒1
【男子】軽米（下谷地璃樹、皆川椋太、大村暦一郎、田中春希）　2分53秒7

◇自由形
【５年以下女子25m】内澤　明未（軽米④）　24秒3
【５年以下男子25m】福田　柊真（晴山⑤）　25秒2
【５年以下女子50m】日影　千夏（晴山⑤）　45秒6
【５年以下男子50m】宮本　遙多（軽米④）　44秒7
【６年女子25m】笹山さくら（晴山）　22秒3
【６年男子25m】太田　遥翔（晴山）　20秒1
【６年女子50m】坂上　由佳（晴山）　40秒8
【６年男子50m】福田　凌我（晴山）　37秒9
【女子100m】鶴飼　穂香（小軽米⑥）　1分57秒5
【男子100m】大村暦一郎（軽米⑥）　1分39秒3

◇背泳ぎ
【５年以下女子25m】苅敷山　凛（晴山④）　26秒4
【５年以下男子25m】角田　耕惺（軽米④）　29秒3
【５年以下女子50m】日影　千夏（晴山④）　54秒9
【５年以下男子50m】鶴飼　将也（小軽米⑤）　59秒0
【６年女子50m】坂上　由佳（晴山）　48秒8
【６年男子50m】西舘　凌冴（軽米）　53秒1
【女子100m】鶴飼　穂香（小軽米⑥）　2分04秒1
【男子100m】西舘　凌冴（軽米⑥）　2分05秒6

◇平泳ぎ
【５年以下女子25m】福田　紗采（晴山④）　30秒3
【５年以下男子25m】澤尻　灯生（小軽米⑤）29秒8
【５年以下女子50m】中里　理佳（軽米⑤）1分07秒2
【５年以下男子50m】佐々木正太（軽米⑤）　58秒2
【６年女子50m】松本　結愛（小軽米）　1分08秒3
【６年男子50m】下谷地璃樹（軽米）　51秒3
【女子100m】圃田　咲弥（小軽米⑥）　2分12秒0
【男子100m】福田　流星（小軽米⑥）　1分51秒6

◇バタフライ
【男子25m】福田　凌我（晴山⑥）　22秒6

かるまい夏祭り

7月30日から8月2日にかけて『かるまい夏祭り』（同実行委員会主催）が大町・仲町・荒町の3商店会を主会場に開かれました。

商店会のイベントや花火大会、ニジマス釣り大会などで、延べおよそ8000人の来場者と夏の夜を盛り上げました。祭りの様子を写真でお伝えします。

①

②

③

①花火大会では、およそ1,300発の花火が光と音で観客を楽しませました。
②物産交流館前のフリーマーケットでは日用品の特売や食べ物の出店などが並びました。
③金魚すくいやおもちゃすくいでは、袋をいっぱいにした強者も。
④カシオペア杯争奪ナニャドヤラ大会で優勝した円子盆踊保存会。
⑤『座・宇漢米』のまさに全身を使った太鼓演舞。

④

⑤

二戸地区広域行政事務組合

消防本部の新庁舎が完成
119番通報を一括集約します

二戸地区広域行政事務組合消防本部（以下、消防本部）と二戸消防署の新庁舎が7月に完成しました。

新たに高機能消防指令センターで119番通報を一括集約することで、住民の皆さまの安全・安心を守る防災拠点施設としての更なる活躍が期待されます。

完成した新庁舎

消防指令センターで119番通報を集約

新庁舎建設と併せて消防本部内に整備を進めてきた高機能消防指令センター（以下、指令センター）も完成し、10月6日から試験運用を行い、11月1日より業務を開始します。

今までは二戸消防署と二戸・浄法寺・九戸・軽米の各分署でそれぞれ受け付けていた『119番通報』は、今後全て指令センターに集約され、各署の消防車や救急車が指令を受けて出動することになり、今まで以上に迅速かつ、効率化が期待されます。

119番通報をするときはここに注意！

☆携帯電話、スマートフォンなどから通報するときは、GPS機能（位置情報サービス）を『有効』に設定！

携帯電話から119番通報をした場合、現場を特定するのに時間がかかりますが、GPS機能を使うことで指令センターでは発信地情報を得ることが可能となり、現場到着までの時間短縮につながります。

☆住所は市町村名からはっきりと！

指令センターでは、1市2町1村からの119番通報を一括受信するため、同じ地名などが複数存在します。混乱を避けるため、住所は市町村名からはっきりと伝えましょう。

10月6日から試験運用

二戸市金田一地区（二戸警察署向かい）に完成した庁舎の各部署の電話とファックスの番号は左の表のとおりです。

資機材などを整えて、10月6日から試験運用を開始。新庁舎の見学会は、10月24日・25日と11月1日（午前10時～12時）に予定されています。

電話番号一覧（市外局番はいずれも0195）		
消防本部	総務課	26－8111
	消防課	26－8112
	ファックス	26－8113
消防署	代表電話番号	26－8119
	予防係	26－8120
	ファックス	26－8121
災害情報テレホンサービス		27－3119

Mission

『町の消滅を食い止めろ！』

総合戦略策定委員会議始まる

日本創生会議が平成26年5月に発表した『消滅可能性都市』の中に記された『軽米町』の3文字は私たちに衝撃を与えました。

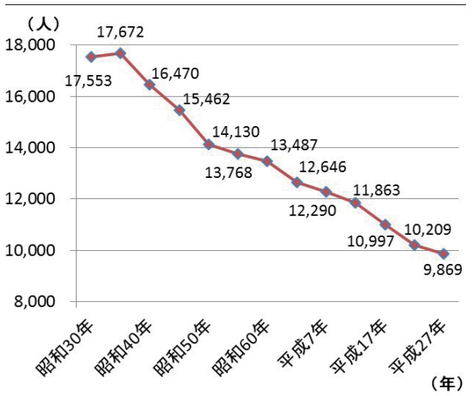
少子高齢化、都市部への人の流出、町の産業・雇用など様々な角度から町の将来を考える『軽米町総合戦略』。町には現在、その策定委員会が設置されています。

今回は、軽米町の人口の推移と、軽米町総合戦略策定委員会議についてお伝えします。

軽米町の人口の推移

下のグラフを見ると、町の人口のピークは今から55年前、昭和35年の17，672人で以降は減少を続けています。

国勢調査が5年ごとの実施のため、平成23年以後は住民基本台帳の数字をもとにしていますが、平成26年10月末で人口10，000人を割り、同27年3月末現在で9，869人となっています。



軽米町の人口の推移

昭和60年～平成22年は国勢調査、平成23年以後は住民基本台帳による

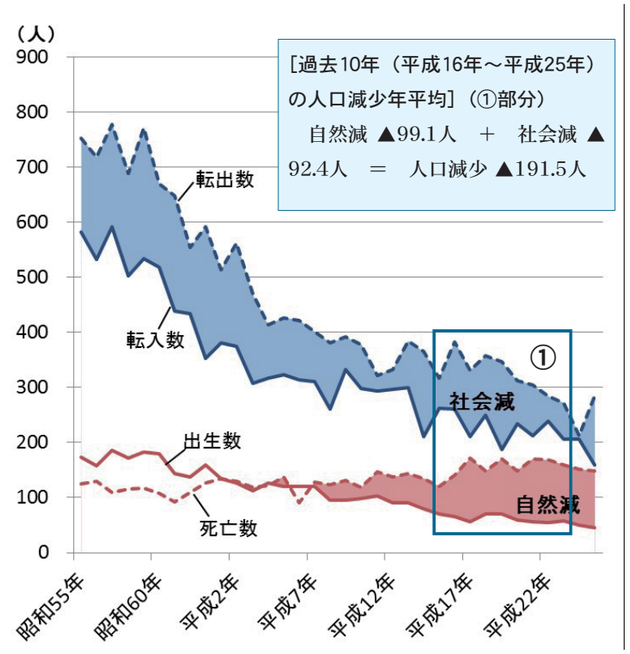
自然増減と社会増減

人口の増減には、『自然増減』と『社会増減』の2つの要素があります。

『自然増減』は、出生児数と死亡者数の差し引きで、『社会増減』は、転入者数と転出者数の差し引きです。

右のグラフは、町の人口推移のうち、自然増減と社会増減に着目したものです。自然増減は、平成7年を過ぎたころからプラスとマイナスが逆転を始めました。社会増減は、以前に比べ減少数こそ減っていますが、グラフの中では一度もプラスになっていません。

直近の過去10年の増減を平均して見てみると、年間200人ほどの割合で減少しています。その内訳は、自然増減と社会増減でそれぞれおよそ100人ずつとなっています。

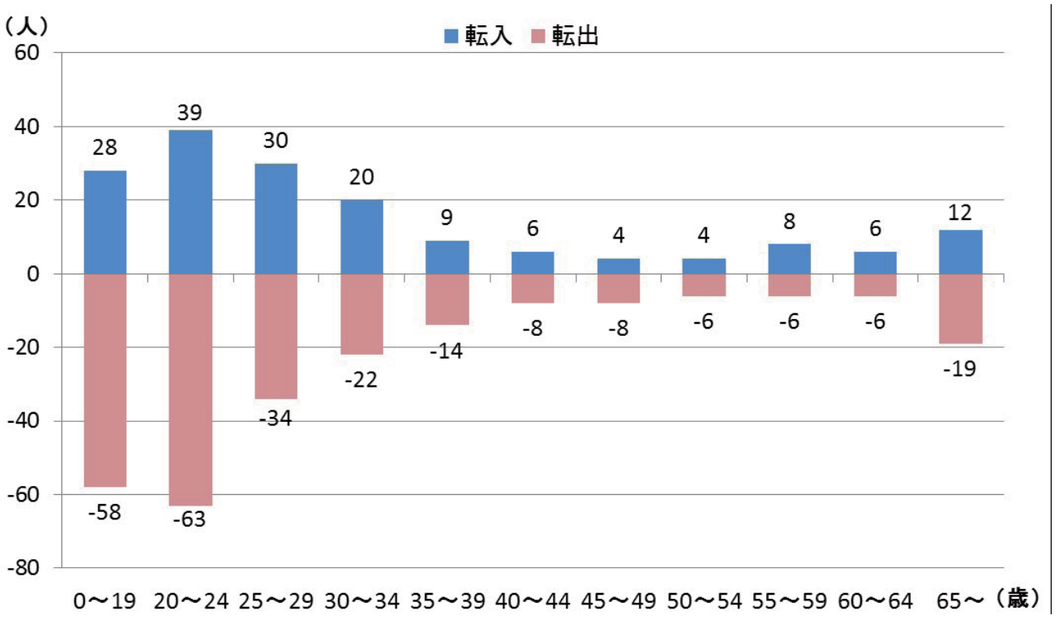


軽米町の人口の「自然増減」と「社会増減」の推移

「岩手県人口移動報告年報」「岩手県統計年鑑」による。

年代別原因者社会動態（平成24～26年の平均値）

「岩手県人口移動報告年報」による。



若年層の流出が顕著

上の図は、平成24年～26年の年代別の転入・転出者数の平均を表したものです。

図を見てみると、34歳までの若年層と65歳以上の年代で転出入ともに移動が大きくなっていることがわかります。

65歳以上の年代が多いのは、施設への入所や子・孫家族との同居のための転出が考えられます。

一方で若年層、特にも20～24歳の転出は63人と他の年代と比べて明らかに多い数字となっています。この年代の生活に大きく関わってくるものとして考えられるのが就職。町内の就職先が限られることから、就職等による転出が多いものと推測されます。

0～19歳の転出者は58人となっていますが、そのうちの約20人が高校新卒者となっています。これは、前述の20～24歳と同様の就職先などの理由に加えて、全国平均で53・2％（総務省統計局『日本の統計2015』より）、県立軽米高等学校でも52・6％（平成25年度実績）という2人に1人を超える進学率の中で、大学や専門学校といった進学先も町内から通える距離には少ないことも理由として考えられます。

総合戦略策定委員会議

先に示した当町の人口の現状から将来の展望を提示する人口ビジョンと、ビジョン達成のための方向性を示す軽米町総合戦略。この2つを作成するために、いま町が抱えている課題とその解決策を探るべく、20人の委員から成る『軽米町総合戦略策定委員会』が5月に設置され、これまでに3回の会議を開催しています。

会議ではこれまでに「町が無くなるのでは、という話は聞こえていたが、実際に数字で示されると改めて実感する」、「若年層の流出を防ぐのは難しい。出ていってもいいから戻ってくるようにすることが重要だと思う」「（若年層の流出について、）出ていくのは仕方ない、と最初から捨ててしまうのはどうか」、「人の流出を食い止めるためには、魅力をもっともっと発信していかなければならない」、「移り住むと考えたときに衣食住の確保は不可欠」、「地域おこしの基本は、できることを、できる範囲で、できる人が継続的にやること」、「二戸、久慈、八戸のちょうど真ん中に位置する地の利を活かすべきだ」など様々な視点から意見が出されています。

来月号では、町民の皆さんや新成人、高校生の方々から回答いただいた総合戦略策定に向けたアンケートの結果などをお知らせします。

10月からマイナンバー制度がはじまります

マイナンバーをもっと知ろう

年金や福祉分野の給付などの社会保障をはじめ、税や災害対策分野でマイナンバー制度が、今年10月5日からスタートすることは、先月号で紹介しました。制度が始まることで、私たちの暮らしはどう変わるのでしょう。今月号では、制度の概要をあらためて紹介するとともに、個人番号カードの交付申請の方法について、お知らせします。

マイナンバーって何？

マイナンバー制度では、国民一人ひとりに12桁の個人番号（マイナンバー）が割り当てられることになっています。個人番号は1人1番号で、○○番はどこの○○さんのもの、というように、個人と直接的に結び付けられるため、マイナンバーといわれています。個人番号の割り当ては、本人の意思によらず、全国民に自動的に行われることになっています。

どうして必要なの？

マイナンバー制度は、住民の皆さんの利便性を高めることや社会保障・税の給付と負担の公平化、行政事務の効率化などを目的にしています。

皆さんが、役場などで国民健康保険の手続きや児童手当などの手続きをする際には、税の証明書などの添付書類を提出することが少なくありません。申請書を書き、手数料を支払うことにわずらわしさを感じることもあるでしょう。社会保障分野などでの手続きなどに限られますが、マイナンバー制度の導入後は、公的証明などの添付書類が省略されることになっています。

また、手続きに必要な情報を役場の方で確認するので、添付書類が不足したり、別の種類の書類を提出したという間違いもなくなります。

情報を確認する際、対象となる方の氏名をもとにすることも考えられますが、氏名には同姓同名、しかも生年月日も性別も同じ、ということが考えられます。本人の情報として確実な確認が行われるためには、全国的に統一された、1人1番号のマイナンバーが必要とされたものです。

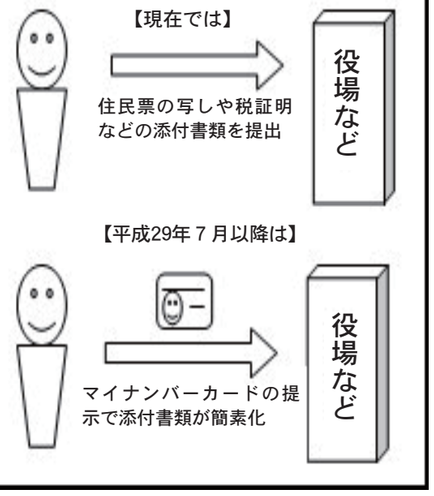
マイナンバー制度の目的

- 公平・公正な社会の実現
- 国民の利便性の向上
- 行政の効率化

自分のマイナンバーは？

皆さんのマイナンバーをお知らせするため、10月5日以降、今年の12月末までに『通知カード』が、世帯ごとに簡易書留で送られます。通知カードには、マイナンバーのほか、氏名や住所、生年月日、性別が記載されることになっています。

役場などでの手続きの変化



個人番号カードとは

通知カードに使用期限などはありませんが、あくまで、マイナンバーをお知らせすることを目的にしたものです。

来年1月以降、会社勤めの方などは勤め先に、役場などで必要な社会保障や税の手続きにはマイナンバーを提示することになりますが、通知カードだけでは、その番号が本人のものとして取り扱うことはできず、運転免許証や健康保険証などを同時に提示することが必要になります。これに対し、本人の申請に基づいて交付される個人番号カードは、それだけで身分証明書にもなるため、役場などでの手続きの際、運転免許証など、他の証明書の提示は必要なくなります。

個人番号カードの取得方法は？

個人番号カードは、本人の希望によって取得していただくことになっています。10月5日以降に送られる通知カードには、個人番号カードの交付申請書の様式がセットになっていますので、必要事項を記入し、裏面に顔写真を貼付のうえ、地方公共団体情報システム機構まで、郵送によりお届けください。（スマートフォンからの申請も可能です。）交付申請後、来年1月以降に役場を通じてご本人に交付することになっています。

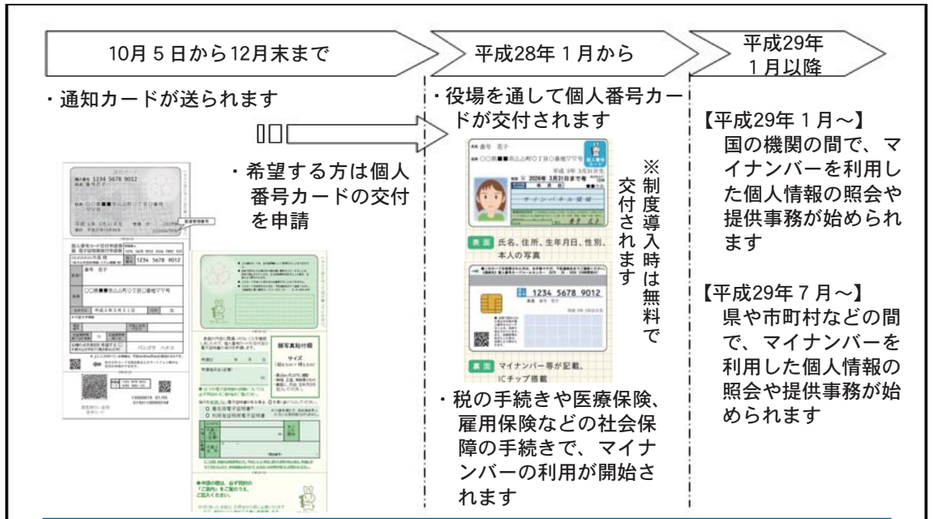
お気を付けください！

マイナンバー制度で皆さんの利便性の向上などを目的にするものですが、制度の導入で心配されているのは、マイナンバーが他人に悪用されたりすることです。

間もなく、マイナンバーをお知らせする通知カードが皆さんのもとに届けられますが、役場や勤め先の会社での手続きなど以外では、絶対に他人に知らせたりしないでください。悪用することを目的に、電話や訪問などで、マイナンバーを聞き出そうとする手口が心配されます。役場など公的機関が、電話や訪問で、マイナンバーを確認することは絶対ありません。

マイナンバーと、それをお知らせする通知カードや個人番号カードの管理には、十分お気を付けください。

10月号では、マイナンバーが必要な手続きなどについて、お知らせする予定です。



やむを得ない事情で、住民票の住所地で通知カードを受け取ることができない方は、現在お住まいの居所で受け取ることができます。

９月25日（金）までに、住民票のある市町村の窓口に『居所情報登録申請書』を持参または郵送してください。

- 一人暮らしで、医療機関や施設に長期間入院・入所されている方、または予定されている方
- ストーカー行為や児童虐待、ＤＶなどの被害のため、住民票の住所地以外のところにお住まいの方
- 東日本大震災の被災者で、住民票の住所以外のところに避難されている方

■■■　マイナンバー制度のお問い合わせ先（全国共通）　■■■

☎０５７０－２０－０１７８

平日9：30 ～ 17：30（土・日・祝日と年末年始を除きます）　※通話料がかかります

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

とってもおいしいお肉だよ！

モーモーフェスティバル2015

軽米牛のＰＲと地域の絆を強めたいと『モーモーフェスティバル2015』（同実行委員会主催）が８月14日、旧笹渡小中学校で開かれました。当日はあいにくの雨模様でしたが、ＰＲのため安値で販売された軽米牛の肉を求めて、およそ420人が来場。埼玉県から来た小林さんは「帰省してイベントを知った。きれいな学校でうらやましい」と話し、八戸市からの来場者は「６パック買いました。去年も参加して、お肉がとてもおいしかったのでまた来ました。親戚にも配りたい」と笑顔を見せていました。

お盆の帰省客や町内のお客さんで牛肉売り場はあっというまの大行列

折爪岳のおいしい空気を胸いっぱいに吸い込みました

折爪岳の自然を満喫

森林ウオーキングｉｎ折爪岳

折爪岳観光推進協議会（藤原淳会長）主催の森林ウオーキングｉｎ折爪岳が８月 30 日行われ、町内外から 24 人が参加しました。町ガイド協会（荒澤作郎会長）がインストラクターとなり、山頂から登山道をミレットパークに向けて元気よく下りました。昼食の後は、そば打ちや魚釣りなどを体験。荒澤会長は「人が生きていくのに必要なのは水と食料と空気。折爪岳のきれいな空気をたくさん吸い込んでください」と自然の魅力を伝えました。

来年の地元開催に向け、まずは今年の活躍誓う

古舘文明さんが国体出場決める

古舘文明（ふみあき）さん（萩田）が９月に開催される『第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体』の相撲競技成年男子団体に出場することが決まりました。

７月に行われた第67回岩手県民体育大会では力を出し切れずも４位に食い込んだ古舘さん。次の大会に国体出場の望みをつなげました。

そして８月９日に山田町で行われた第62回岩手県相撲選手権大会。大学を終了したばかりの若い選手や、県民体育大会で敗れた選手らを次々と倒し、見事に準優勝と殊勲賞に輝き、国体出場を決めました。

以前は実業団に所属し、週に３日は仕事が終わってからも土俵に上がることができた古舘さんですが、今年の４月から広告代理店勤務へと転職。職場環境も変わり、練習も思うように積めないなかで、県の相撲連盟の合宿など貴重な時間を大切にしてきたとのこと。

９月に迫った国体では大将を務める予定の古舘さんは「来年のいわて国体に向け、（わかやま国体では）結果を残します」と力強く宣言してくれました。

選手権大会準優勝の賞状と殊勲賞の楯を手にする古舘さん

被災地へ思いを届けたい

震災復興支援バザー

町保健推進員協議会（佐藤勝子（かつこ）会長）が８月２日、東日本大震災の復興支援バザーを開催しました。震災の年から毎年実施しており、衣類や日用品などの品は、全て会員や町の人たちの自宅から提供されたもの。佐藤会長は「長く続けられる支援を、と思って始めた。お釣りもそのまま募金箱に入れる人など、被災地を応援したいという気持ちを感じます」と人のやさしさに感激。収益金は全て、同会と交流の深い大槌町保健推進員協議会に贈られます。

被災地への思いをこめました

生徒たちは講師の指導により苦手を克服しようと頑張りました

夏休みに勉強の不安解消

サマー学習会

夏休み中に勉強の不安をなくそうと町教育委員会の主催により８月３日から７日まで軽米中学校の生徒を対象にサマー学習会が開催されました。町立図書館の２階では、１年生から３年生までの希望者が数学と英語を重点的に勉強しました。５日間の参加人数は延べ 322 人。家庭教師協会の講師や町の学力向上支援員など 11 人の先生たちにわからないところをその都度教えてもらい、勉強の苦手を克服しようと真剣に鉛筆を走らせました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

東日本大震災被災地の岩手県大槌町と、姉妹町の同県軽米町の中学生を招き、本町の中学生と交歓野球大会が行われました（いまいる。プロジェクト２０１５実行委員会主催）。大会終了後には焼肉パーティーなどの交流会も行われ、３町の中学生は親睦を深めました。

笑顔と絆の交流プロジェクト

様々な職種、立場の人が集まって一緒に意見を出し合いました

みんなは一人のために

地域包括ケア推進会議

高齢者やその家族が安心して暮らすための地域包括ケア推進会議が８月 21 日、健康ふれあいセンターで開かれました。町内の医療介護福祉の関係者や警察署・消防署・郵便局員たち総勢 54 人が参加。町内の課題についてグループワークを行うと、参加者からは「多職種の顔が見える研修会で、医療と介護が同じ視点で連携を考えられる」、「互いに意見を言い合える場であり、色々な立場からの意見が聞けて良かった」などの意見が多数あがりました。

笑顔あつまれ！　みんなの広場

キラキラ光る

大人として自覚と責任を

菅原　瑞穂（みずほ）さん
（19歳、車門）
身長158㌢、O型
二戸市役所勤務

成人式で代表謝辞を述べた菅原さん。現在は二戸市役所に勤めています。

Q、自分の性格を一言でいうと？

真面目だと思います。『真っ直ぐ』でいようとして、融通が利かないことも…？

Q、今の仕事を選んだ理由は？

専門的な分野を極めるのではなく、地域の人の生活全般に関わる仕事をしたかったから。

Q、あなたの夢は？

家族と一緒に世界一周旅行。

Q、町をどう思いますか？

好きです。町外に出てみて、町の人の人柄や生活のしやすさを実感しています。（高速道路がある、八戸市に近いなど）

Q、二十歳を迎えての抱負をお願いします。

既に社会人である自分は、『二十歳』になって与えられた権利に甘んずることなく、今まで通り緊張感を忘れずに生活していきたいです。

▼好きな映画…ジブリ映画
▼好きな食べ物…母の手作りの卵焼き
▼今ほしいもの…自分だけの図書館
▼理想の異性のタイプ…一緒にいて楽しい人（自分を笑わせてくれる人）。芸能人でいうと有野晋哉さん。

今月の俳句

（岩手ホトトギス吟行句会より）

草匂（にお）ふ山あじさいのこぼれ咲く　丹下　美恵子

山霧に万緑（ばんりょく）濡れて山重し　川﨑　郁子

見事にも梅雨（つゆ）霧に消ゆ岳の景　三上　千栄女

妬（ねた）ましいほどよく似合う夏帽子　千葉　紅園

ひめぼたる百万棲（す）むといふ山に　中野　とき子

夏山に咲く花なべて白多し　松村　英子

姉の庭ほのかに咲きし沙羅（さら）の花　千葉　ふみ子

夏座敷（なつざしき）奥まで亨客の声　中田　紀子

梅雨（つゆ）霧の流るる川に鳥の群　川島　由蔵

いちめんに咲く夏萩を手向（たむ）けとし　早川　慶子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

■夢・希望・えんぴつ■

軽米中学校２年
鶴飼　知里（ちさと）さん
（沢里）

想いを繋げる文化祭

私は今年、生徒会のメンバーとして初めて文化祭の企画・運営を行います。クラス内での活動から学校全体での活動に目を向けることになり、軽中のみならず地域の方々とも結び付きを深める文化祭を目指したいと思います。

町内四つの中学校と統合してから迎える二度目の文化祭は、昨年度に勝る文化祭にし、多くの人の心に残る行事にしたいです。

具体的には、今年から文化祭の出し物として郷土芸能を取り入れる予定です。統合してもなお、それぞれの地域で受け継がれてきた郷土芸能が色褪せることなく次の世代へ引き継ぐために中学生と地域との関係を深めることは大切だと思います。

今年の文化祭スローガンは『想い～繋げる一人一人の心～』です。軽米町にただ一つ中学校は多くの人に支えられています。その方々の想い、全校の想いを繋げることで地域の方々への感謝も表現したいです。

私も生徒会の一人として、文化祭に対する『想い』を持ち積極的に活動していきます。そして、一人でも多くの人の『想い』が繋がり、誰もが「良かった」と感じる文化祭を目指していきたいです。

軽米の埋もれし宝 81

～最新の発掘された宝⑬
軽米城跡（下）～

前号まで、軽米城跡の調査の結果、中世に属すると考えられる遺物・遺構が多数発見されたことをご紹介しましたが、実は、今回の調査では、もう一つ思いがけない発見がありました。

中世の柱穴（ちゅうけつ）などは南部浮石（ふせき）層（通称ゴロタ）・八戸火山灰層（同ガベ土）の上からこれを掘り込まれたものですが、このゴロタとガベ土の間から縄文時代早期中葉頃（約８千年前）の貝殻文（かいがらもん）土器片が調査区全体からまばらに出土しました。

また、柱穴が見つかった町道近くの幅１．５ｍ×２．６ｍの狭い区画では、ガベ土によく似た柔らかい褐色（かっしょく）土を削ると、厚い貝殻文土器と４～30㍉ほどの小さな石の欠片（かけら）が見え始めました。さらに掘り下げて確認したところ、厚さ30ｃｍほどの柔らかな土の中に、土器11点と約２千個もの欠片が集中して出土しました（写真）。

軽米城跡の発掘調査状況
剥片・細片集中部の出土の様子

これらは、石器作りの際に原石を叩くと生じる細長い剥片（はくへん）や細かな細片などの作りカスで、少量ですが石器として形を整えられた跡のある未製品（作りかけ）も含まれていました。

出土の状況からは、その場でどのような石器作りが行われていたかまでは窺（うかが）い知ることはできませんでしたが、少なくともこの小高い台地に、石器製作を行う縄文早期の集落が存在していた可能性が高いことが想像されます。

今回は軽米城跡の初めての正式発掘調査でしたが、文献や現在の表面地形からは想像できない様々な新たな知見を得ることができました。今後も少しずつデータを重ねることで、軽米城跡の本当の姿が見えてくることでしょう。

（教育委員会学芸員　藤田直行）

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～早めからつけるライトで消える事故～

全国交通安全運動の実施について

【運動期間】
　９月21日（月）～30日（水）までの10日間
　※９月30日は『交通事故死ゼロを目指す日』
【運動の基本と重点】
運動の基本
○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止（特に、反射材用品等の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）
○後部座席を含めたすべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
○飲酒運転の根絶
運動の重点
《子どもと高齢者を交通事故から守りましょう》
《薄暮時間・夜間は反射材を着用しましょう！》
《全ての座席でシートベルト・チャイルドシートを着用しましょう》
《飲酒運転を根絶しましょう》

軽米町の交通死亡事故０は、８月末で**１４２９日**となり、市町村では県下第２位です。

７月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	１件	２件	－６
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	０人	２人	－６
物損事故	９件	93件	±０
救急車出動回数	39回	277回	＋26

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります。

▶飲酒運転検挙者　50代男性（大字晴山）

軽米病院だより

岩手県立軽米病院（☎４６－２４１１）

軽米病院の近況

先日、軽米病院の地域懇談会が開催され、病院の運営状況を地元の代表の方々に説明しました。

その中で出た意見に、予防接種の待ち時間が長いということがありました。担当部署からは、予防接種には年代に合わせて多くの種類があり、事故を防ぐためどうしても確認作業が多くなることをご説明いたしました。

予防接種以外にも、診察終了後の待ち時間が長いというご意見も最近多く聞かれます。こちらでは滞りなく確認や手続きを行っていても、結果的に待ち時間が長くなることもあると思われます。

どこをどうしたら待ち時間が少しでも短縮されるのか、検討していきたいと考えています。

話は変わりますが、10月から常勤の内科医が3人から２人に減ることになりました。今のところ補充の見通しはありません。外来業務はほぼこれまで通りですが、検査日が減少し内視鏡検査などが少し遅くなるかもしれません。また、入院患者の病状説明の予定が遅くなるかもしれません。医学部の奨学生が増えましたが、その人たちが現場に出てくるまでは厳しい状況が続きそうです。ご理解とご協力をお願いいたします。

（院長　横島孝雄）

文夫に育つ　元気に働く　健やかに老いる

健康福祉課（☎４６－４１１１）

ピッカピカの歯っていいね！

健康福祉課
上席主任栄養士
工藤　晃子

軽米町の1歳6ヶ月児の「むし歯のある子どもの割合」は岩手県より高めで、3歳児では県内33市町村中ワースト8位（軽米町34.4％、岩手県25.8％）という状況です。

また、６歳児では66.8％（岩手県は58.6％）の子どもにむし歯があります。（むし歯のある子どもの割合はH23、H24、H25の3年分の集計値）

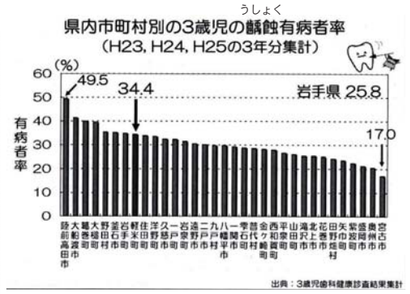
生まれて1年半位で歯の健康が損なわれ始め、それ以降むし歯が急増しています。

どんな生活習慣がむし歯をつくりやすいのでしょうか。

むし歯に関連する習慣や行動では「毎日仕上げ磨きをしてもらっている」割合が他の市町村より低い傾向にあります。また、甘い飲み物や菓子を1日に1回だけでなく何回か口にする傾向もあります。

口の中をきれいに保つことが、歯の健康にはとても大事なこと。むし歯になりにくいお口の環境にしてあげましょう。

仕上げ磨きを親子の習慣にしていきましょう！



図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

ー今月の新刊ー

【児童書】

花　クイズブック

（小学館）

監修・執筆/多田多恵子

「小学館の図鑑NEO」から生まれた、図鑑とクイズが合体した新感覚クイズブック。花のしくみや特徴、生態などにまつわる100問に挑戦して、もの知り博士になろう！

みずやりとうばん

（廣済堂あかつき）

文作/くすのきしげのり
絵/あおきひろえ

みんなでお世話をしてきた学校の野菜畑。なつみは、金曜日のみずやり当番をすっかり忘れて帰ってしまい…。思い悩むこどもの心を、おおらかに受け止めるおはなし絵本。

今月の図書館ひろば

日時：９月26日 10:00 ～ 11:00　　対象：幼児
場所：図書館となりの蔵　　小学校低学年

【一般書】

はじめてのポップオーバーBOOK

（マイナビ）

著/若山曜子

身近な材料で簡単に作れるヘルシーブレッド、ポップオーバー。生地に具材を混ぜ込む基本のレシピやデザートポップオーバー、おかずと組み合わせたお食事レシピなどを紹介。

泥棒教室は今日も満員

（徳間書店）

著/赤川次郎

劇場のオケピットを掃除していた男性が、世界的に有名なオーケストラ指揮者、田ノ倉靖の指揮棒に触れて亡くなった…。「夫は泥棒・妻は刑事」の迷コンビが活躍する人気シリーズ最新作。

町のこよみ・かるまいカレンダー

9月　September

16	水	町小学校駅伝競走大会【ハ】13：30～ 1歳6か月健診【ふ】13：00～13：30受付
17	木	はつらつ教室【小軽米生活改善センター】 13：30～15：30
18	金	
19	土	軽米秋まつり【町中心部】～21日 敬老会【体】
20	日	消防演習【軽米中学校グラウンド】7：00～
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	うまっこ教室【ふ】9：30～12：00
25	金	
26	土	図書館ひろば【図】10：00～ 軽米町畜産共進会【新岩手農協軽米地区担当課特設会場】9：00～
27	日	休日と夜間の納税相談【税務会計課】～29日
28	月	はつらつ教室【公】13：30～15：30
29	火	教育相談【公】9：00～15：00
30	水	町税の納期限（国民健康保険税第3期）

10月　October

1	木	はつらつ教室【小軽米生活改善センター】 13：30～15：30
2	金	
3	土	
4	日	町民体育祭【ハ】9：00～ 健康まつり【ハ】9：30～12：00
5	月	**はつらつ教室【公】13：30～15：30**
6	火	
7	水	乳児健診【ふ】13：00～13：30受付
8	木	はつらつ教室【晴山公民館】13：30～15：30
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	軽米町ロードレース大会【町内特設コース】 9：00～
13	火	
14	水	
15	木	はつらつ教室【晴山公民館】13：30～15：30

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

子ども会リーダー
音更町視察研修

柳月スイートピアガーデンを見学

お知らせ情報 Information

もっと知ろう みんなの国民年金

国民年金保険料に納め忘れのある方へ

『10年の後納制度』が９月末で終了します！

過去10年間に納め忘れた国民年金保険料を納付することができる「10年の後納制度」は９月30日をもって終了します。

10月１日から３年間に限り、過去５年間に納め忘れた保険料を納付することができる「５年の後納制度」が始まります。後納制度を利用するには、申込みが必要です。詳しくは、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

※お問い合わせの際は、**基礎年金番号のわかるもの**（年金手帳や年金機構からくるハガキなど）をご用意ください。

【問い合わせ先】
国民年金保険料専用ダイヤル　☎０５７０－０１１－０５０
二戸年金事務所　☎２３－４１１１
役場町民生活課　☎４６－４７３４

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

浄法寺診療所 （☎38-2021）	二戸市 浄法寺	9月20日（日）	ぽっぽ歯科クリニック （☎31-1182）	一戸町 一　戸
千葉耳鼻咽喉科医院 （☎23-2009）	二戸市 福　岡	21日（月）	ますだ歯科クリニック （☎26-8282）	二戸市 石切所
菅整形外科皮膚科クリニック （☎23-7311）	二戸市 石切所	22日（火）	沢藤歯科医院 （☎25-4002）	二戸市 堀　野
川村医院 （☎23-3252）	二戸市 福　岡	23日（水）	渡辺歯科医院 （☎23-2052）	二戸市 堀　野
いちのへ内科クリニック （☎33-2701）	一戸町 高善寺	27日（日）	窪島歯科医院 （☎23-2425）	二戸市 福　岡
齋藤産婦人科医院 （☎23-2505）	二戸市 石切所	10月４日（日）	岩渕歯科医院 （☎32-2238）	一戸町 一　戸
小原内科医院 （☎23-3410）	二戸市 石切所	11日（日）	ほんだ歯科クリニック （☎23-9591）	二戸市 石切所
藤田内科 （☎38-2772）	二戸市 浄法寺	12日（月）	菅歯科 （☎23-5161）	二戸市 福　岡

（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

北海道新聞社では新聞紙のロールの大きさにびっくり

よつ葉乳業では見学後に工場で作られた牛乳をゴクリ

ハナックの中にある足湯で旅の疲れをリフレッシュ

多重債務相談窓口と出前講座のご案内

国の地方出先機関である東北財務局盛岡財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方からの相談に応じています。

■日時：毎週月曜～金曜（祝日、年末年始を除く）
８：30～16：30
■場所：盛岡地区合同庁舎４階
■その他：秘密厳守・相談料無料

同事務所では、地域のコミュニティ活動や各種団体などに、振り込め詐欺の手口や対策など金融犯罪未然防止のための出前講座を行っています。費用はかかりませんのでお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ・相談先】東北財務局盛岡財務事務所（☎０１９－６２２－１６３７）

二戸市民文化会館事業

■公演名：清塚信也ピアノリサイタル
■日　時：10月11日（日）
開場13：30、開演14：00
■場　所：二戸市民文化会館
■入場料：一般2,500円、高校生以下1,000円
当日券は各500円増し

【問い合わせ先】二戸市民文化会館（☎０１９５－２３－７１１１）

オータムジャンボ宝くじ発売

１等：３億円×13本
前後賞各：１億円×26本　　など

※いずれも発売総額390億円・13ユニットの場合
発売期間：９月28日（月）～10月16日（金）
※この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

司法書士無料法律相談

岩手県司法書士会では、10月１日の『法の日』を記念して、無料法律相談を行います。

■日時：10月１日（木）10：00～15：00
■場所：岩手県司法書士会館、二戸市シビックセンター、久慈市立中央公民館　ほか
※電話による無料法律相談（☎０１９－６５２－９３５０）も受け付けます（10月１日のみ）。
※10月１日～９日（土・日を除く）まで、各司法書士事務所でも無料相談を受け付けます。

【問い合わせ先】岩手県司法書士会事務局（☎０１９－６２２－３３７２）

愛犬のしつけ教室

日時　10月11日（日）　午前10時～正午
参加費　1,000円
場所　馬淵川公園駐車場
※事前申し込みでクラスを分けます。

【問い合わせ先】わんこの会事務局（☎２３－８２５７）

法務局休日相談所

■日時：10月４日（日）10：00～16：00
■場所：盛岡地方法務局二戸支局など県内６ヵ所
※全ての相談所で予約優先
■内容：登記、相続、戸籍、国籍、供託、家庭問題、近隣問題、いじめ・差別問題、その他困りごと全般について、なんでも相談をお受けします。
■相談料：無料
■担当者：弁護士、公証人、法務局職員、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員
※担当者は相談所により異なります。

【問い合わせ先】盛岡地方法務局総務課（☎０１９－６２４－９８６１）

広報 かるまい 9
平成27年 9月号 (No.678)

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
電話 0195-46-2111(代)
FAX 0195-46-2335
ホームページ http://www.town.karumai.iwate.jp/

冠婚葬祭　7月分
＜敬称略＞

おめでた
（　）内は父母の名

緑ヶ丘　古舘　陽茉莉（ひまり）（伸郎・里美）

おしあわせに

道野下　哲哉（駒板）
佐藤　沙織（二戸市）

藤田　尚之（向川原）
大内蔵　由貴子（観音林東）

おくやみ
（　）内は享年

高清水	古舘　トミエ	(88歳)
本町	森沢　清次郎	(85歳)
鶴飼	山崎　リヱ	(91歳)
屋敷	柏木　チヤ	(88歳)
民田山	成田　信一	(79歳)
米田	横羽　ヒロ子	(77歳)
蜂ヶ塚	松浦　三藏	(82歳)
下尾田	長瀬　俊雄	(63歳)
河北	山田　徳一郎	(87歳)
車門	菅原　朝見	(92歳)
岩崎	小笠原　英彦	(62歳)

●人の動き
＜平成27年7月31日現在／町民生活課調べ＞

男　4,811人（＋4）／女　5,026人（－3）

合計 9,837人（＋1）／世帯数 3,788（＋1）

※（　）は前月比

転入　25人（122人）／転出　13人（182人）

出生　2人（28人）／死亡　12人（125人）

※（　）は1月からの累計

※広報紙内において、お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

2016 希望郷 いわて国体
第71回国民体育大会　広げよう 感動。伝えよう 感謝。

いわて国体プレ大会を開催!

改修を終えたグラウンドで、選手たちの熱戦が繰り広げられました

８月29日と30日の両日、ハートフル球場を主会場に希望郷いわて国体軟式野球競技のプレ大会が開催されました。来年10月に開催される国体の成功に向けて、競技役員らは、本番を見据えた大会運営を行いました。

県内の強豪11チームが集結した本大会。始球式では軽米中３年生の舘坂紘希（こうき）くんが堂々とした１球を投じ、会場を盛り上げたほか、大会運営では町野球協会が中心となり、審判、場内放送、記録員など県野球協会の指導を受けながら、一つひとつの動きを確認していました。また、軽米中学校野球部の皆さんも補助員として参加。グラウンド整備やボールボーイの仕事をてきぱきとした動きで行っていました。

今後は競技役員のさらなるレベルアップを図り、国体にふさわしい質の高い大会運営を目指します。

（上写真）始球式を行った舘坂くん
（下写真）軽米中学校野球部はグラウンド整備や試合の補助員など元気いっぱい動きました

ほっとひといき／編集後記

▼新成人の皆さん、おめでとうございます！顔ぶれを見ると、教育実習でお世話になった当時の中学1年生!?みんな立派になって…。時が経つのは早いな～、と一人でしみじみしてしまいました。▼先月号に引き続きお知らせしたマイナンバー制度。個人情報が集約され、これ一つでいろいろな手続きが素早く行え便利になりますが、その分、悪用しようと目を光らせる不届き者も増えるかもしれません。紛失や流出にはくれぐれもご注意を！（小笠原）